



# 避難行動要支援者の 支援体制づくり

問い合わせ 介護高齢課高齢者支援室 ☎53・2111 (内線3420) 記事ID 0061832



災害が発生した時や発生のおそれがあるときに、自力で避難することが難しい高齢者や障がいをお持ちの人は、災害時の避難情報の伝達や避難場所への誘導などの支援が必要となります。

市では、災害時に避難支援などを必要とする人を把握するため「避難行動要支援者名簿」をつくり、避難支援等関係者（各町内や集落、自主防災会、民生委員・児童委員など）と情報を共有し、地域の支え合い、助け合いによる災害時の避難支援の仕組みづくりを推進していきます。

### 事前の情報提供が重要！

災害時の地域による避難支援の仕組みづくりを進めるためには、事前に避難支援等関係者に「避難行動要支援者名簿」を提供しておくことが重要になります。

### 必ず同意確認をします

市では、「避難行動要支援者名簿」の対象となる人に対し、避難支援等関係者へ事前に名簿の提供を行うことについての同意確認を行います。

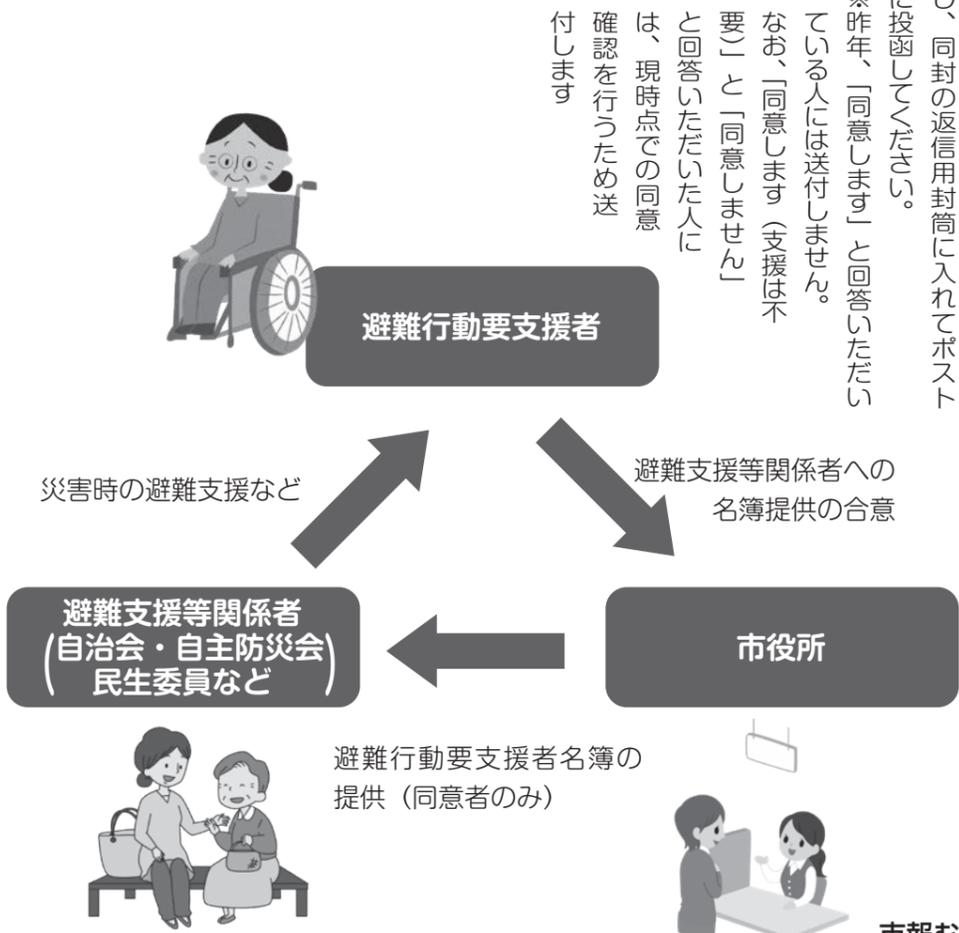
対象となる人には、10月下旬頃に「避難行動要支援者名簿外部提供等同意書」を送付しますので、同意の有無を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。

※昨年、「同意します」と回答いただいている人には送付しません。

なお、「同意します（支援は不要）」と「同意しません」と回答いただいた人には、現時点での同意確認を行うため送付します。

### 個人情報の取り扱い

個人情報については、市および避難支援等関係者内において、適正に管理し、名簿は避難支援に関わる目的以外には使用しません。また、名簿の提供時に、避難支援等関係者に対して個人情報の取り扱いについて十分に説明します。



# お母さんのお口の健康は 赤ちゃんの健康につながります



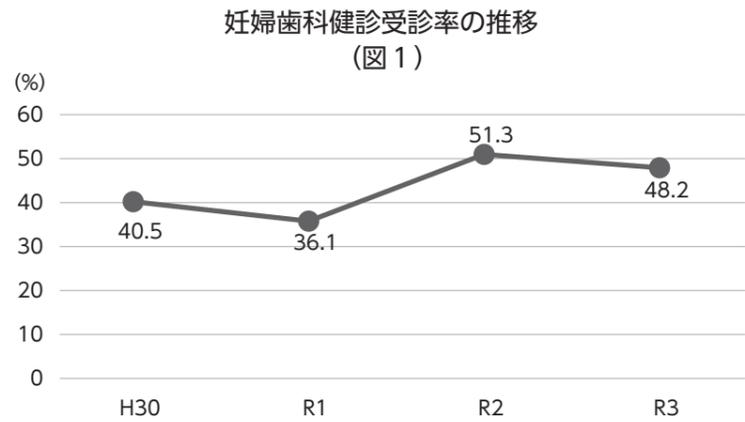
問い合わせ 保健医療課健康支援室 ☎53・2111 (内線2442) 記事ID 0042187

市では、妊娠届けを出された方に妊婦歯科健診受診券をお渡ししておりますが、受診率は50%前後で推移しています。(図1)

妊娠中は女性ホルモンの分泌の変化から、むし歯や歯周病になりやすくなり、進行しやすい時期です。歯周病によって作られる炎症性物質は陣痛を促す働きがあり、早産や低出生体重児など胎児に影響を及ぼす場合があります。

お母さんのお口の健康は赤ちゃんの健康に直接つながっています。つわりのため歯磨きができない場合は、普段使っている歯ブラシよりも小さいものを使うことや、糸ようじ・歯間ブラシを試してみたいかがでしょう。歯磨きがおっくうな時は、洗口剤を使ったうがいをする事で口の中も気分もリフレッシュします。

健診は体調が比較的安定している、妊娠5〜7か月頃の受診がおすすめです。



## 村上市岩船郡歯科医師会からのお知らせ

はじめに、8月の豪雨および新型コロナウイルス感染症により影響を受けた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

毎年6月に行っております「無料歯科相談」ですが、今年は時期と名称を変更して、「健口フェア」として開催する11月に「健口フェア」として開催することになりました。新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見込めない状況のため規模を縮小しての開催となりますが、市民の皆さまの多数のお越しを心よりお待ちしております。

この3年にもおよび新型コロナウイルス感染症の蔓延状況下においては外出が減り、人との接触が少なくなっている方も多いです。それに加えて食生活が乱れていると、足腰だけでなく体



幹部分の筋肉量もかなり減少してしまっています。握力が弱くなり、ふくらはぎも細くなり、人と話さないためか滑舌も落ちてきてしまいます。このことは「ロナフレイル」と呼ばれています。「フレイル」とは、加齢に伴い心身が衰えた状態を意味する用語ですが、身体だけでなく、噛んだり、飲み込んだり、話したりする「口腔機能」が衰え、やがて心身機能の低下につながっていく「オーラルフレイル」もあります。歯が20本以上残っていても、義歯で噛み合わせを回復していても唇舌・咽喉・食道などの飲み込みに関する神経・筋肉の協調がなければうまく食事をすることはできません。オーラルフレイルは口の中のわずかな症状であるため、自分ではなかなか気づきにくいものです。定期的にかかりつけ歯科医を受診し、小さな異常を見逃されることなく、いつまでも自分のお口で美味しく食べられるようにしましょう。

村上市岩船郡歯科医師会会員一同、感染予防対策を徹底して市民の皆さまの健康を守るために取り組んでいます。

村上市岩船郡歯科医師会  
会長 佐久間 利則